

教育委員会の所管事務に係る  
自己点検・評価報告書  
(令和2年度事業分)

令和3年10月

西海市教育委員会

## 目 次

I	教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1 ~ 2
II	学識経験者における所見	3 ~ 9
III	自己点検・評価一覧表	
1	教育委員会の活動状況について	11 ~ 14
2	教育委員会が管理・執行する事務について	15 ~ 20
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1.	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1)	能力や個性を伸ばす教育の推進	22 ~ 25
(2)	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進	26 ~ 30
(3)	健康で安全な学校生活の実現	31 ~ 35
(4)	教職員の資質の向上	35 ~ 37
(5)	幼児教育の推進	37 ~ 38
2.	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1)	学習環境の充実	39 ~ 43
(2)	公民館活動の活性化	43 ~ 45
(3)	人権・同和教育の推進	45 ~ 46
3.	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1)	家庭の教育力の向上	47 ~ 48
(2)	青少年の健全育成	48 ~ 51
4.	安心して学べる教育環境の構築	
(1)	安心して望ましい教育環境の実現	52 ~ 53
(2)	安全で快適な教育施設の整備	54 ~ 57
5.	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1)	文化・芸術活動の推進	58 ~ 59
(2)	文化財の保存・保護・活用	59 ~ 61
(3)	活力あるスポーツの振興	62 ~ 65
(4)	スポーツ環境の充実	66 ~ 67

# I 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

## 点検評価の概要

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになっています。

そこで、西海市教育委員会においては、令和2年度における所管事務について、西海市教育振興基本計画の施策体系に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。

## 外部評価者の意見

点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用にあたっては、次の2名の外部評価者より各分野に関して、所見をいただきました。

柏田 正 氏（元時津町立時津小学校 校長）

一瀬 薫 氏（長崎県教育会 常務理事）

## 評価基準

各施策の評価にあたっては、次の評価基準によりAからDのランク付けを行いました。

ランク	評 価 基 準
A	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は目的水準以上であることから、今後も積極的に施策を推進していく。
B	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業がある。今後も概ね現行の方法、手法等により推進していく。
C	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業もある。今後は、課題等を踏まえ、事業の対象や手法について見直しを図りながら展開していく。
D	施策の目的、目標を達成するための課題が多く、各種事業に取り組めないでいる。大幅な事業の見直しを図る。

## 教育委員会の取組

教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、市ウェブサイトにて会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに応えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えています。

最後に、平成 28 年度に策定された第二期西海市教育振興基本計画は、今年度行われる第 2 次西海市総合計画後期基本計画の策定に伴い改定を予定しており、これまでの P D C A (Plan-Do-Check-Action) サイクルの実践により得られた諸課題や今後 5 年間を見据えた本市教育行政が果たすべき役割を的確に反映した内容を目指してまいります。

令和 3 年 1 0 月

西海市教育委員会

## Ⅱ 学識経験者による所見

( 柏田 正 氏 )

西海市教育委員会が令和2年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、令和2年度の社会全体の大きな特徴は4月の年度初めから年度末まで年間を通してコロナ禍にあったということです。各種研修会や訪問活動さらには社会施設活動などの生涯学習関係等に限らず、その影響を最低限にとどめながら事業の推進を図り、成果をあげていることを大いに評価します。これは関係職員一人ひとりが、またチームとして各事業に対する理解と課題の明確化はもちろんのこと、コロナ禍での各事業の具体的な計画、実施、反省、改善というPDCAサイクルの実践に真摯に取り組んできた結果であると推察します。

コロナ禍がいつまで続くのかわからない状況下で、ウェブサイトの活用による効果的な情報発信、学校教育ネットワークの構築等、これまで以上にICTを活かした様々な取り組みが求められます。コロナ禍で「できない」ではなく「どうすればできるか」という観点から新たな創意工夫で各事業を発展させていただくよう期待します。また「ふるさとを学ぶ教育の推進」における「西海学」は西海市の教育の大きな特徴の一つです。西海学を通して子ども一人ひとりが、ふるさとを愛する心、豊かな心が育つよう今後とも学校独自の創意工夫ある「西海学」の実施を望みます。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

### 1. 教育委員会の活動状況について

教育委員会会議の開催について、市ウェブサイト上に掲載し会議開催の周知を図ったり、委員会会議録を市ウェブサイト上で公開したりするなど関係職員の取り組みを高く評価します。さらにこれらの情報発信を継続することで会議の傍聴者や議事録の閲覧者の増加も期待できます。また、長崎県教育委員会との意見交換や各種研修会等、対外的なものについては中止や延期がありました。13回の学校訪問を実施し、延べ30名の委員が出席できたことは委員が各学校の実態を知る上で大変有意義であったと思われます。今後の教育行政に活かしていただくことを切に願います。

### 2. 教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取り組みがなされており、特記する事項はありません。

### 3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

#### (1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

##### ① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 本市の重要課題である学力の向上について、西海市 AI プラン、学びの土台づくり推進事業を有効に活用した授業改善の実施、PTA と連携した家庭での学習時間と内容の充実に向けた取り組みは、学力向上に大変有効な手段として評価します。本年度は家庭での学習時間の達成率調査が未実施となっていますが、前年度をみても低い水準にとどまっています。課題・方向性に記載されている項目について、より具体的方策を検討し、実践される

ことを期待します。また、児童生徒の学年段階における基礎的な漢字・計算等の西海市同一問題を定期的に検定し、各自の習得を確実にするなど学力向上のための様々な方策が考えられます。本市の児童生徒の実態に応じた創意工夫ある取り組みでさらなる学力向上を期待します。

- コミュニティ・スクールは「学校の課題や現状を理解してもらえる」「ボランティア活動が活性化する」「地域の将来を見据えた学校運営が行える」等のメリットがあり、それは学校の活性化、地域の活性化、ひいては西海市の活性化につながります。まさに「地域とともにある学校」の将来像と言えます。大瀬戸小学校をモデル校としながらの取り組みは高く評価できます。今後、大瀬戸小学校の取り組みが各学校へ波及し、さらに発展していくことを期待します。

## ② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進

- 道徳教育に関する研修の推進、研究授業を中心とした授業の質の向上、体験的な活動を取り入れた授業等十分な成果がうかがえます。市内全校の教員を集めての研修会は実施できませんでしたでしたが、それに変わるものとして各学校の訪問時に道徳教育の指導を行ってきたことは高く評価できます。また、子供たちの道徳性や人格の育成は学校だけではできません。そういう点からも体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合が100%というのは大変すばらしいことです。今後とも継続した取り組みの中で進化、発展することを期待します。

- 不登校の要因は多様化し、学校だけの問題ではなく、本人や家庭に要因があることも多く、長期化しやすく改善点が見出しにくいのが現状です。そういう中で不登校児童生徒の改善率が向上しているのは、心の教室相談員をはじめとする市のスクールカウンセラーやソーシャルワーカー等の努力の成果です。今後も連携を蜜にしながらか相談体制がさらに充実していくことを願っています。

## ③ 健康で安全な学校生活の実現

- う歯罹患率が全国平均（小4 4.82%、中3 4.0%）より低く、すでに次年度の目標値も達成していることはすばらしい成果です。これは行政、学校、PTA等の連携が十分に機能し、う歯予防の重要性の理解がなされた結果です。今後も継続した取り組みを期待しています。
- 地元の農作物を活用した学校給食は安全面からはもちろんのこと、子供たちが郷土を知るための有効な手段の一つです。農作物は天候等に左右されるため一定量の確保が困難なことがあります。継続的な取り組みをお願いします。

## (2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

### ① 学習環境の充実

- コロナ禍で図書館の臨時休館や図書館まつりの中止を余儀なくされ、図書の貸し出し数や図書館利用者数の減少はあったものの、その影響を最低限にとどめたり、ブックスタートの実施率が常に100%であったりしたことは、図書館ネットサービスや図書サービスの向上等による一定の成果だと言えます。今後、コロナ禍に影響されない創意工夫ある方

策を講じることが大切です。また、本市の課題である児童生徒の平日読書習慣の啓発と定着に向けて、学校教育課所管の「読書活動の推進」事業への一層の後方支援を望みます。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 家庭の教育力の向上・青少年の健全育成

- 子供たちの問題行動の原因は多様化し、家庭や学校だけでは対応できなくなっており、市民総がかりで取り組む必要があります。コロナ禍で家庭教育学級の学校での開催や公民館での開設、青少年の健全育成事業などで大きな影響がでており、関係職員が尽力したにもかかわらず、十分な成果が得られなかったのが残念です。今後、このピンチをチャンスに変え、新たな創意工夫と柔軟な考えで事業の活性化に取り組むことを切に願います。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

① 安心で望ましい教育環境の充実

- 全小学校に地域ボランティアの見守り隊が組織され、地域ぐるみの学校安全体制が確立していることは素晴らしいことです。また、人材バンク登録者が42名を数え、放課後子ども教室や土曜学習の開催を通して、子供たちの安全な居場所や学びの場を保証していることを高く評価します。今後の事業の継続と充実を期待します。

② 安全で快適な教育施設の整備

- 西海市光のみち構想と並行し、GIGA スクール構想を実現するための各学校の環境整備が50%を達成したことは高く評価します。コロナ禍等を視野に入れたこれからの学校教育の在り方を考えたときに大変重要な事業です。早急に100%達成できることを望みます。

(5) 地域を支える文化・芸術・スポーツの振興

① 活力あるスポーツの振興

- 小学生や幼児を対象とした水泳教室、体操教室の開催はコロナ禍で前年度よりもかなり減少したにもかかわらず、地域の要請に応じた出前講座を実施したことは評価できます。また、人口減少とともに競技人口が減少する中で、体育協会加盟団体数を維持し、活動を継続している関係者の努力に敬意を表します。今後とも生涯スポーツ事業の開催や青少年のスポーツ指導者の育成や発掘に尽力されることを願います。

令和3年9月27日

相田 正

( 一 瀬 薫 氏 )

西海市教育委員会が令和2年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず総評として、5つの主要施策・16の主要事業で策定された「第二期西海市教育振興基本計画」の目標達成のために、マネジメントサイクルに則り、具体的な方策のもと継続実践されており、確実に成果をあげられていることに敬意を表します。いずれの事業も西海市の教育振興に向けて必要不可欠な取組であり、西海市教育委員会が学校や家庭、地域の様々な教育課題の解決に向けて真摯に事業に取り組む様子を点検・評価報告書から十分に知ることができます。予定されている改訂では、目標設定や評価手法の妥当性まで視野に入れ、評価活動の充実を図っていただければと思います。

新型コロナウイルス感染症の拡大は予想できず、評価項目には挙がっていないのですが、大きな歴史的史実に向き合っている今、学校教育現場や社会の中で、子供たちの学力、生徒指導、学校環境、教職員の負担感、人間関係、地域の伝統文化の継承等々にどのような影響をもたらしているのか、という点について一定の整理を行う必要はないのかと感じています。

以下、特に指摘をしておきたい項目について所見を述べます。

#### 1. 教育委員会の活動状況について

コロナ禍のもと、学校訪問、学校行事・市や地域の各種行事に多数参加し、子供たちや地域の状況、市民のニーズの把握に努め、「顔の見える教育委員会」として活発に活動され、本市の教育行政において反映されていると思います。また、教育委員会の会議録のウェブ配信は、説明責任と透明性の確保の点で評価できます。

#### 2. 教育委員会が管理・執行する事務について

必要に応じた対応・取組がなされております。

#### 3. 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

##### (1) 生きる力を育む学校教育の実現

###### ① 能力や個性を伸ばす教育の推進

○ 各学校が「授業実践の視点」や学力向上プランに基づき、教育委員会指導主事の指導を受けながら常に授業改善に努めていることは、大いに評価できます。「できた」、「分かった」の笑顔あふれる授業を求めて、小さな努力を重ねる授業改善こそが、学力向上対策の中核となる取組です。継続を望みます。

○ 家庭での学習時間の達成状況は、大きな成果が見られず課題であると言えます。学力向上プロジェクト小中連携検討チームを中心にした取組や家庭や生徒会と連携した取組を謳っていることは評価できます。学年に応じた家庭学習の時間、家庭学習の内容、学習の進め方等を検討し、「家庭学習の進め方」のリーフレットを作成する等、市全体が一体となった取組が必要と感じます。家庭学習の習慣化は確かな学力の定着、そして学びに向かう力の醸成のためにも最重点課題と感じます。

○ 特別支援教育については、教職員対象の研修会の実施や特別支援教育補助員の配置等手厚く対応されています。今後も、関係機関と連携しながら、保護者の十分な理解のもと、子供たちのニーズに応じた特別支援教育の推進を図ってください。

○ コミュニティ・スクールの配置については、大瀬戸小学校をモデル校として、市内4校を準備校として設置の準備が進められています。「社会に開かれた教育課程」の理念を踏まえながらの着実な推進を期待します。

## ② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進

○ 学校訪問時の道徳教育に関する指導や資料の提供等、教育委員会が学校と一体となり、道徳教育を推進していることに敬意を表します。また、様々な体験活動やボランティア活動と関連させて、道徳的実践力を育もうと取り組んでいることも評価できます。「特別の教科 道徳」の趣旨や理論の実現を図るためにも、「考え、議論する道徳」への転換に向けた取組を強力に支援されるよう願います。

○ 地域を学ぶ副教材の作成・活用や西海学の展開は、それぞれの地域のよさを再発見し、郷土に対する誇りと愛情を育み、将来への夢や憧れ、志をふくらませることに繋がる取組だと評価できます。

## ③ 健康で安全な学校生活の実現

○ 感染症予防の観点からも、基本的な生活習慣の定着は大変重要です。西海市が進める統一的な素晴らしい取組「は・あ・と・ふ・る」運動とつなげながら、健康で安全な学校生活の推進に努めてください。

## ④ 教職員の資質の向上

○ 研究発表会・研修会の開催や指導主事及び教科等指導員の学校への派遣等、尽力されていることに敬意を表します。教職員一人一人が、「これまでも社会から求められてきた資質・能力」（不易）と「現在、社会から求められる資質・能力」（流行）が高められ、西海市に勤務して良かったと思える研修体系の構築を続けてください。

## ⑤ 幼児教育の推進

○ 養護と教育の2つの機能をもった素晴らしい幼保連携型認定こども園「市立大島こども園」が開園されました。市長さんのお話のように、「こどもたちのゆりかごととなり、子育て世帯のよりどころとなるよう」運営の充実に努めてください。

## (2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

### ① 学習環境の充実

○ コロナ禍のもと、社会教育講座19講座252回実施されたことは評価できます。幅広い世代の市民が魅力を感じ受講しやすい講座や地域のニーズに応じた学習内容の一層の充実を図りたいという視点を持っていることも素晴らしいと思います。

### ② 公民館活動の活性化

○ 引き続き「自治公民館モデル事業」を活用して、自発的な公民館活動の展開と住民協

働の地域づくりに尽力ください。

また、地域のニーズや課題を把握しながら、魅力ある学習講座の展開を図ってください。

③ 人権・同和教育の推進

○ 「人権啓発作品コンクール」において 1,220 点 の作品の応募があったことは、西海市における人権教育が浸透していることの証です。今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進 を図ってください。

○ いじめの早期発見・早期解決を標榜しています。大事なことだと思います。「いじめゼロ」ではなく「いじめ見逃しゼロ」の姿勢で、安心して学べる学校づくりに取り組んで欲しいと思います。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

○ 家庭教育講座の開設については、コロナ禍の影響で困難だと思いますが、地域のニーズや社会情勢の把握のもと、魅力的な講座の実施に努めてください。

② 青少年の健全育成

○ 西海市独自の「は・あ・と・ふ・る運動」を中心とした健全育成事業が推進されとても素晴らしいです。今後関係団体とさらに連携・情報共有を図りながら事業を展開して欲しいと思います。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

① 安心で望ましい教育環境の実現

○ 「放課後子ども教室」や「土曜学習」の実施を通して子供たちに安心・安全な居場所と学習の場の提供をされていることは大いに評価できます。事業の推進・充実を期待します。

○ G I G Aスクール構想に伴う I C T機器の活用にも対応されているようで嬉しく思います。

効果的な活用事例の発信や情報端末の安全で充実した活用等、課題も多いと思います。教育委員会の情報発信と指導・支援に期待します。

タブレットや情報機器の安全で有効な活用についての、保護者（P T A）と学校職員が一緒になった研修会等の実施も有効ではないかと思えます。

② 安全で快適な教育施設の整備

○ 予算の確保が伴いますが、引き続き子供目線での安心安全な望ましい教育環境の整備に努めてください。

(5) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

① 文化・芸術活動の推進

○ コロナ禍のなかでの各種事業の開催は御苦勞が多いものと思います。今後も工夫を凝

らしながらwithコロナ時代の文化・芸術・スポーツの振興に努めてください。

② 文化財の保存・保護・活用

- 教育委員会と大瀬戸歴史民族資料館への学芸員の配置は大変価値あることだと思います。本市の文化財の調査・整備と情報発信に一層努めてください。学芸員の小中学校への派遣事業も検討されてはどうか。

③ 活力あるスポーツの振興

- 生涯スポーツの観点からも、子供も高齢者も楽しくスポーツに触れる機会や場づくり等に尽力ください。

④ スポーツ環境の充実

- 施設の老朽化が進んでいるところは、年次計画に基づき整備充実を図ってください。

令和3年9月30日

一瀬 薫



### Ⅲ 自己点検・評価一覧表

---

#### 1 教育委員会の活動状況について

---

中項目	小項目	2年度	元年度	内容等
1 教育委員会 会の構成	① 構成数	5人	5人	うち、小中学校の保護者 1名
	② 平均年齢	61歳	60歳	48歳・1名、61歳・1名 61歳・1名、64歳・1名 72歳・1名 (令和3年3月31日現在)
	③ 性別	男性 3名 女性 2名	男性 3名 女性 2名	
2 教育委員会 会議の運営及び情報 発信	① 会議開催数	13回	15回	定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を1回開催した。
	② 会議傍聴者数	3人	14人	教育委員会会議の開催について、市ウェブサイト上に掲載するなど会議開催の周知を図った。
	③ 議事録の公表 状況	13件	15件	教育委員会会議録を市ウェブサイト で公開した。
3 市長との 連携	① 意見交換会の 状況	2回	2回	7/28、10/19に開催された総合教育会議において、市長との意見交換を実施した。
4 教育機関 等との連携	① 学校への訪問	13回	33回	別紙のとおり、13回の学校訪問を行い、延べ数で30名の教育委員の出席があった。
	② その他社会教育施設への訪問	0回	1回	新型コロナウイルス感染症の影響で中止
	③ 長崎県教育委員会との意見交換	0回	2回	新型コロナウイルス感染症の影響で中止及び延期
5 教育委員 の自己研鑽	① 研修会への参加状況	0回	3回	新型コロナウイルス感染症の影響で中止及び延期

幼稚園・小中学校訪問状況

年 月 日	曜日	学 校 名	参加委員数	備 考
令和2年4月7日	火	市内小学校	5名	入学式
令和2年4月7日	火	市内中学校	5名	入学式
令和2年4月9日	木	大島幼稚園	1名	入園式
令和2年7月1日	水	大串小学校	1名	学校訪問
令和2年7月15日	水	西海北小学校	1名	学校訪問
令和2年10月4日	日	大島幼稚園	1名	運動会
令和2年10月14日	水	西海中学校	5名	学校訪問
令和2年10月30日	金	西彼中学校	1名	研究発表会
令和2年11月4日	水	大島東小学校	4名	学校訪問
令和2年11月9日	月	ときわ台小学校	3名	学校訪問
令和2年11月11日	水	西海東小学校	1名	研究会
令和3年1月22日	金	大島西小学校	1名	研究発表会
令和3年1月29日	金	大串小学校	1名	研究発表会
計			30名	

その他の活動状況

年 月 日	曜日	内 容	参加委員数	備考
令和2年12月24日	木	社会教育委員との意見交換会	—	中止
計			—	

長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和2年5月19日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	—	中止
令和2年11月6日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	—	延期
計			—	

研修会への参加状況

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
令和2年5月19日	火	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	—	中止
—	—	九州地区市町村教育委員会研修大会	—	中止
令和2年11月6日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	—	延期
計			—	

---

## 2 教育委員会が管理・執行する事務について

---

中項目		活動指標	2年度	元年度	内容等
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討件数	2件	2件	スクールバスの運行区域外の運行他1件について審議した。
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討件数	25件	21件	教育委員会規則11件、告示7件、訓令7件について制定改廃を行った。
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討件数	1件	0件	幼保連携型認定こども園の設置について審議した。
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討件数	1件	4件	市内小中学校教職員の人事異動等について検討した。
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討件数	1件	1件	教育委員会の自己点検・評価について検討した。
6	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算関係検討件数	9件	7件	当初予算及び補正予算について検討した。
		条例関係検討件数	4件	2件	西海市教育振興基金条例に伴う関係条例の整備に関する条例の提案等について検討した。
		その他検討件数	0件	0件	令和2年度該当なし。
7	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	0件	0件	令和2年度該当なし。
8	教科用図書の採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	1件	1件	令和3年度使用中学校教科書の採択について検討した。

中項目		活動指標	2年度	元年度	内容等
9	県費負担に係る教職員の任免その他の進退について内申すること	検討件数	0件	0件	令和2年度該当なし。
10	教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事	検討件数	26件	22件	小学校及び中学校における学校評議員等の各種委員会委員の委嘱について検討した。
11	市文化財の指定又は解除に関する事	検討件数	0件	1件	令和2年度該当なし。
12	学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更を決定すること	検討件数	0件	0件	令和2年度該当なし。
13	1件 1,000万円を超える事業計画に関する事	検討件数	4件	2件	令和2年度に実施する大型事業について検討した。
14	教育財産の取得及び処分について市長に申出を行うこと	申出件数	4件	3件	教育財産の取得2件、用途廃止2件について検討した。
15	その他	検討件数	1件	2件	教育文化スポーツ功労表彰について検討した。
	計		79件	68件	

## (参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第4回 定例会	議案	第22号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第23号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第24号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第25号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第26号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第27号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第28号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第29号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第30号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第31号	大崎地区審議会分科会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第32号	令和2年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 可決	13
	報告	第2号	令和元年教育委員会費補正予算(第7号)に係る臨時代理の承認について	原案 承認	6
	報告	第3号	西海市学校薬剤師の委嘱に係る臨時代理の承認について	原案 承認	10
	報告	第4号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について	原案 承認	10
	報告	第5号	西海市就学支援委員会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について	原案 承認	10
	報告	第6号	西海市学校運営協議会委員(西海市立大瀬戸小学校)の委嘱に係る臨時代理の承認について	原案 承認	10
	報告	第7号	西海市立小・中学校省令主任の任命に係る臨時代理の承認について	原案 承認	10
	報告	第8号	教育財産(崎戸炭鉱遺構用地)の取得に係る臨時代理の承認について	原案 承認	14
	報告	第9号	西海市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定に係る臨時代理の承認について	原案 承認	2
	報告	第10号	令和2年度教育費補正予算(第1号)に係る臨時代理の承認について	原案 承認	6
	報告	第11号	西海市スクールバスの運行区域外の運行に係る臨時代理の承認について	原案 承認	1
	議案	第33号	西海市立小学校及び中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第34号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第2号)	原案 可決	6
第5回 定例会	議案	第35号	西海市学校歯科医の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第36号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第37号	西海市立小学校のあり方を考える懇談会(大瀬戸地区)委員の委嘱について	原案 可決	10

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第5回 定例会	議案	第38号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第39号	西海市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第40号	令和2年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 可決	13
第6回 定例会	議案	第41号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱及び任命について	原案 可決	10
	議案	第42号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第43号	西海市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第44号	西海市スポーツ推進審議会委員の選任について	原案 可決	10
	議案	第45号	西海市修学旅行特別対策事業費補助金交付要綱の制定について	原案 可決	2
	議案	第46号	西海市立の学校におけるハラスメントの防止等に関する要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第47号	西海市立小学校及び中学校児童・生徒の通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第48号	西海市離島高校生修学支援事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	報告	第12号	令和2年度教育費補正予算(第3号)に係る臨時代理の承認について	原案 承認	6
第7回 定例会	議案	第49号	令和3年度使用中学校教科書の採択について	原案 可決	8
	議案	第50号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(西海市教育振興基金条例の一部を改正する条例の制定について)	原案 可決	6
	議案	第51号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(財産の取得について)	原案 可決	14
	議案	第52号	西海市教育・文化・スポーツ功労表彰に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第53号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第4号)	原案 可決	6
第8回 定例会	議案	第54号	令和元年度西海市教育委員会自己点検・評価について	継続 審議	—
	議案	第55号	西海市教育委員会職員の自家用車の公務使用に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	議案	第56号	令和2年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 可決	13
第9回 定例会	議案	第57号	西海市地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に規定する事務を定める規定の制定についての意見の申し出について	原案 可決	6
第10回 定例会	議案	第54号	令和元年度西海市教育委員会自己点検・評価について(継続審議)	修正 可決	5
	議案	第58号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	原案 可決	6
	議案	第59号	幼保連携型認定こども園の設置に係る意見の申し出について	原案 可決	3
	議案	第60号	幼保連携型認定こども園における教育課程に関する基本的事項の策定に係る意見の申し出について	修正 可決	1
	議案	第61号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について(教育費補正予算第5号)	原案 可決	6
第11回 定例会	議案	第62号	西海市公民館長の委嘱について	原案 可決	10

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第11回 定例会	議案	第63号	令和2年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の決定について	原案可決	15
	議案	第64号	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第65号	西海市教育委員会防犯カメラシステム管理運用規程の制定について	原案可決	2
	議案	第66号	令和2年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案可決	13
	報告	第13号	令和元年度西海市一般会計（教育費）決算認定について	原案承認	6
第1回 定例会	議案	第1号	西海市小中学校適正配置等審議会（大崎地区審議会）委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第2号	西海市教育委員会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
第2回 定例会	議案	第3号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について）	原案可決	6
	議案	第4号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第8号）	原案可決	6
	議案	第5号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（令和3年度教育費予算）	原案可決	6
	議案	第6号	教育財産の用途廃止について（幼稚園）	原案可決	14
	議案	第7号	西海市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則について	原案可決	2
	議案	第8号	西海市教育委員会公印規則の一部を改正する等の規則の制定について	原案可決	2
	議案	第9号	西海市青少年スポーツ振興補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第10号	独立行政法人日本スポーツ振興センター災害共済掛金のうち保護者等から徴収する額を定める要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第11号	西海市立学校財務事務取扱要領の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第12号	西海市教育委員会職員の自家用車の公務使用に関する規程の一部を改正する等の訓令の制定について	原案可決	2
第1回 臨時会	議案	第13号	令和3年度教職員人事異動について	原案可決	4
第3回 定例会	議案	第14号	西海市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	原案可決	10
	議案	第15号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案可決	10
	議案	第16号	教育財産の用途廃止について（教職員住宅）	原案可決	14
	議案	第17号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第18号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第19号	西海市教育委員会公印規則等の一部を改正する規則の制定について	原案可決	2
	議案	第20号	西海市立学校のあり方を考える懇談会設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案可決	2
	議案	第21号	西海市立小中学校共同実施室組織運営規程及び西海市教育委員会職員の自家用車の公務使用に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	原案可決	2
	議案	第22号	西海市教育委員会テレビ会議運営規程の制定について	原案可決	2

---

### 3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

---

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	学力の向上					
施策の方向性	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善					
成果指標	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	平成27年2月に作成（令和元年12月改訂）した「授業実践の視点」や各種学力調査結果に基づいた各学校の学力向上プラン等を基に、研究授業を全ての教員が年間1回以上行った。また、教育委員会事務局としても、各学校の校内研修に出向き、指導助言を行うことで授業改善を図った。				評価	A
課題・方向性	学力向上は本市の重要課題である。西海市A Iプラン、学びの土台づくり推進事業を有効に活用した授業改善を推進する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	学力の向上					
施策の方向性	キャリア教育の推進					
成果指標	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	—	
事業内容・成果	将来の生き方を視野に入れ、「夢・あこがれ・志」をもった子供を育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリア教育の充実を図った。令和元年度からキャリア・パスポートを作成し活用している。				評価	A
課題・方向性	社会の変化に対応し、たくましく生き抜くことができる児童生徒を育成するため、計画的にキャリア教育に取り組む。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	学力の向上				
施策の方向性	家庭での学習時間と内容の充実				
成果指標	塾等を含む平日の家庭学習時間達成率				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小低：－ 小高：－ 中：－	小低：19.9% 小高：56.8% 中：17.3% <small>※小学校高学年は90分以上のデータがないため、60分以上の達成率である。</small>	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い指標となる調査未実施	小低：100% 小高：100% 中：100%	－
事業内容・成果	児童生徒の家庭学習の充実に向け、学力向上プロジェクト小・中連携検討チームを中心に対策を考え、各学校とPTAが連携しながら進めている。			評価	C
課題・方向性	目標時間を達成している児童生徒はまだ少ない。家庭学習の充実に向けた教職員の意識を高めるとともに、引き続き小・中連携検討チームの活動の推進や、家庭や生徒会と連携した取組を図る。また、学習用パソコンの家庭持ち帰りを推進し、個に応じた学習時間と内容の充実を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進				
主要事業	特別支援教育の充実				
施策の方向性	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実				
成果指標	研修の充実度				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	－	99%	99%	100%	－
事業内容・成果	西海市教職員夏季研修（特別支援教育）では市内小・中学校から76名が参加し、指導教諭による講義を通して研修を深めた。また、特別支援教育コーディネーター連絡協議会や特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会、学習支援員・特別支援教育補助員研修会でも特別支援学校から講師を招き、研修の充実を図った。			評価	A
課題・方向性	教職員の特別支援教育への理解や経験、指導力は年々高まってきているため、経験や力量に応じた研修のあり方を適宜見直しながら、研修内容の充実に努める。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	校内支援体制の充実					
成果指標	学習支援員配置充足度					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	85%	100%	100%	100%	19,613	
事業内容・成果	児童生徒の状況やニーズに応じて、担任や特別支援教育コーディネーターと連携しながら、意図的・計画的な校内の支援を可能にするため、学習支援員・特別支援教育補助員を9小学校、4中学校及び大島幼稚園に、計22名を配置した。				評価	A
課題・方向性	通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童は年々増加傾向にあり、学校からの要望数も多くなってきている。今後も各学校の実態把握に努め、状況等に応じて適切に配置する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特別支援教育の充実					
施策の方向性	相談体制の充実					
成果指標	専門機関との連携回数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	11回	11回	8回	12回	—	
事業内容・成果	西海市就学相談会1回、就学支援委員会3回、療育機関就学ガイダンス4回、計8回の連携を行っている。また、各学校においては地域支援事業を活用した、特別支援学校への相談も積極的に行っており相談体制の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	今後も専門機関との連携を積極的に行い、相談体制の充実を図っていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進					
成果指標	長崎県学力調査（中学校英語）で60%以上理解している生徒の割合					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	—	35%	60%	19,873	
事業内容・成果	英語を母国語とする5名のALTにより、児童生徒に対し英語科担当又は担任教諭とともに英語指導を行った。生きた英語に触れることで、語学力の向上と国際理解を深めることができた。また、1名の英語教育指導員を小学校に派遣することにより、小学校外国語活動の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	小学校中学年への外国語活動の導入及び高学年の外国語科開始に伴い、更なる英語教育の充実を図るため、指標とする学力調査や英語指導助手のより効果的な活用法について、更に研究を深めていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進					
主要事業	特色ある学校づくりの推進					
施策の方向性	コミュニティ・スクールの主旨を生かした学校運営の推進					
成果指標	コミュニティ・スクール設置校数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0校	1校	1校	2校	163	
事業内容・成果	「地域共同社会」として発展してきた本市の良さを生かしながら、地域・保護者・学校・教育委員会が協力して、コミュニティ・スクールの形成に向けた準備・研究が進んできている。西海市学校運営協議会規則を制定し、大瀬戸小学校に設置のコミュニティ・スクールをモデルに市内4校を準備校として令和3年度設置に向けて取り組んだ。				評価	B
課題・方向性	大瀬戸小学校をモデル校として、コミュニティ・スクールの設置・充実を推進する。その他の学校においても「地域とともにある、特色ある学校づくり」に向け、準備・研究を進めていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	道徳教育の充実				
施策の方向性	道徳教育に関する研修の推進				
成果指標	教職員を対象とした研修会の実施				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1回	1回	0回	継続	—
事業内容・成果	小学校及び特別支援学校小学部では平成30年度から、中学校及び特別支援学校中学部では、平成31年度から「特別の教科 道徳」が全面実施された。市内全校の職員を集めた研修は実施せず、各訪問時に道徳教育に関する指導を行い、必要な資料の作成を全校で進めることができた。			評価	B
課題・方向性	市主催の研修会の実施や各学校における道徳教育の推進状況についての情報交換・協議を行う。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	道徳教育の充実				
施策の方向性	研究授業を中心とした授業の質の向上				
成果指標	道徳科の授業研究会を実施している学校の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	100%	—
事業内容・成果	市内17校において、校内で授業研究を行った。			評価	A
課題・方向性	学校公開日、心を見つめる教育週間等で公開される授業を参観するとともに、各学校での授業研究会を通じて指導を行う。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	道徳教育の充実			
施策の方向性	道徳教育の場の充実			
成果指標	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合			
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)
	—	100%	100%	100%
事業内容・成果	各学校の教育方針に基づき、道徳的価値に関する体験的な学習等を取り入れることで、道徳的諸価値の理解につながる力を育んだ。		評価	A
課題・方向性	児童生徒自らが成長を実感でき、これからの活動や目標が見付けられるよう、職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの体験活動や情操を育む活動を積極的に活用するとともに、地域の人々や保護者から積極的に授業の参加協力を得たり、道徳教育推進教師との連携を図ったりして、計画的な指導を行う。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進			
施策の方向性	ふるさとについて学ぶための副教材の充実			
成果指標	地域を学ぶ副教材の作成			
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)
	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	継続
事業内容・成果	市内小学校3年生（205人）、市内中学1年生（180人）に配付し、授業で活用することで、郷土を誇り、ふるさとを愛する西海市の子供の育成に努めた。		評価	A
課題・方向性	自然、環境、歴史、行財政等、最新の情報を収集して、副教材を再編集し、内容の充実を図る。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進				
施策の方向性	各校の特色に応じた「西海学」の展開				
成果指標	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	85%	38%	継続	58
事業内容・成果	各小学校の実情や地域の特色に応じて内容や実施学年を工夫し、ふるさとについて学ぶ学習を展開し、それに対する支援を行った。新型コロナウイルス感染症の拡大の影響によって小学校13校中、5校の実施となった。			評価	B
課題・方向性	各小学校の創意工夫による「西海学」の展開により、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深められるようにする。令和3年度も、事業内容を再確認し、全小学校で実施できるようにする。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	読書活動の推進				
施策の方向性	平日の読書習慣の確立				
成果指標	平日の読書時間の割合（1日30分以上）				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小6：30.2% 中3：34.2%	小6：39.0% 中3：33.7%	小6：39.2% 中3：29.3%	小6：70% 中3：50%	—
事業内容・成果	学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置による小・中学校の読書活動の推進、朝の読書活動の定着等により、小学校の読書時間の割合は増加傾向を示した。			評価	B
課題・方向性	図書主任、学校図書館司書等への指導を通して、ブックトークや読み語り等に取り組むことで本の世界を広げ、家庭読書の啓発を図っていく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	蔵書率の充足					
成果指標	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	小：119.4% 中：99.1%	小：130.2% 中：104.3%	小：120.7% 中：126.4%	小：100% 中：100%	3,616	
事業内容・成果	蔵書率100%を超えた学校から、古い図書の廃棄作業を進め児童生徒に必要な図書の整備を図っており、蔵書率が小学校においては平均で120.7%、中学校においては126.4%となった。				評価	A
課題・方向性	図書の計画的な廃棄と新規購入を行い、読書活動の推進を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	読書活動の推進					
施策の方向性	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実					
成果指標	学校図書館司書等の配置人数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	10人	10人	9人	継続	9,313	
事業内容・成果	市内小・中学校の読書活動推進のため、中学校に学校図書館司書を配置し、読書に関する指導や環境づくりを行うとともに、近隣小学校を巡回し中学校と同様の指導等を行った。雪浦小学校については、大瀬戸中学校との兼務として、学校図書館運営の充実を図った。				評価	A
課題・方向性	学校図書館司書の定期的な研修会（月1回）を通して、図書館教育への理解を深め、読書活動のより一層の充実を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	不登校等の子どもへの支援				
施策の方向性	教育相談体制の整備				
成果指標	不登校児童生徒の改善率				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	50%	33%	55%	95%	3,738
事業内容・成果	心の教室相談員を本土部4中学校に配置するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制を整備し、不登校に対する初期対応及び自立支援を充実させている。不登校の生徒が心の教室に別室登校したり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの関わりから改善傾向が見られたりしている。			評価	B
課題・方向性	不登校の要因が多様化し、学校の問題だけでなく、本人や家庭に要因があることが多く、長期化しやすい。今後も、本人や家庭のケア、専門機関との連携による支援等、積極的に相談体制を充実させていく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	不登校等の子どもへの支援				
施策の方向性	「適応指導教室」の充実				
成果指標	適応指導教室指導員の研修の受講回数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	2回	3回	3回	3回	2,151
事業内容・成果	大島地区に開設している「適応指導教室」における指導・支援の向上を図るため、指導員の研修を充実させた。令和2年度、指導員は、長崎県教育委員会主催の研修1回と長崎県教育センター主催の研修2回を受講した。			評価	A
課題・方向性	今後も、担当者が積極的に研修を受講し、指導・支援の向上を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	健康教育の推進				
成果指標	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：98.7% 中：96.8%	小：99.1% 中：98.2%	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い指標となる調査未実施	小：100% 中：100%	—
事業内容・成果	令和2年度は調査が実施されていない。令和元年度の成果ではあるが、朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合は高い水準を保っている。			評価	B
課題・方向性	「は・あ・と・ふ・る運動」とつなげながら家庭と連携し、朝ご飯を食べて登校する児童・生徒100%を目指す。 西海小学校を研究指定校にして、PTAと連携した取組を推進する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	健康教育の推進				
成果指標	う歯罹患者の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：17.2% 中：39.1%	小：10.7% 中：30.7%	小：7.1% 中：28.4%	小：16% 中：35%	—
事業内容・成果	う歯罹患者の割合は、目標値よりも低く、小学校、中学校ともに改善している。			評価	A
課題・方向性	市の保健部局等と連携し、フッ化物洗口の取組を支援する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	安全教育の推進				
成果指標	避難訓練の実施率				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	—
事業内容・成果	警察・消防等の関係機関と連携し、各学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を実施した。			評価	A
課題・方向性	学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を推進し、関係機関と連携した安全教育に努める。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校体育の充実と体力の向上				
施策の方向性	児童生徒の体力の向上				
成果指標	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	46.70%	55.9%	新型コロナウイルス感染症拡大に伴い指標となる調査未実施	50%	—
事業内容・成果	令和元年度の結果において、持久力や筋力については、多くの学校で全国平均を上回っている。柔軟性については、関連する補強運動等を体育の授業の準備運動として行うことで改善がみられている。			評価	B
課題・方向性	(H30年度までは、全学年の調査報告であったが、H31年度から、調査報告の対象学年が小5と中2とされた。) 令和元年度の結果において、上体起こしや長座体前屈の種目で全国平均を下回っているため、継続した取組が必要であり、児童生徒の体力の分析や実態に応じた指導計画及び実践を行う。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校体育の充実と体力の向上				
施策の方向性	部活動指導者の指導力の向上				
成果指標	部活動指導者講習会の実施				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0回	2回	2回	2回	—
事業内容・成果	部活動指導や社会体育の指導に携わる者が、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するための部活動等の指導と環境づくりのあり方についての講習を受け、指導力及び資質を高めた。12月はアスレティックトレーナーを講師に招聘し、講義・実技指導を行った。3月には柔道整復師を講師に招聘し、トレーニング理論やけがの予防について講義・実技指導を行った。			評価	A
課題・方向性	令和3年度も、講師を招聘し、講義・実技指導を中心とした研修会を実施し、引き続き、教職員、部活動指導員及び社会体育の指導に携わる者の指導力及び資質向上を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	安全な食材の確保				
成果指標	西海市産の農産物の使用率				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	59.50%	66.7%	53.1%	70%	—
事業内容・成果	地元の食材を有効に活用することができた。しかし、農作物の確保は天候等に左右されるため、継続が難しい場合もある。また、地元の食材が豊富な4、5月に臨時休業が実施されたことも使用率の低下につながった。			評価	B
課題・方向性	安全な食材を確保するため生産者等と協議し、西海市産の農産物の使用を推進する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	食育の推進				
成果指標	学校における食育に関する行事の実施率				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	85.70%	78.9%	68.0%	100%	—
事業内容・成果	学校において、全職員で食育を推進し、児童生徒が食に関する理解を深めるような実践を行った。地元食材や県産品を使った献立の工夫が見られた。行事については、教育課程に位置付けながらも、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い実施できない学校があった。			評価	B
課題・方向性	家庭と地域が連携した食に関する指導を充実させ、食生活を向上したり、食に関する関心を高める取組を継続する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	施設、設備の充実				
成果指標	学校給食施設の大規模改修施工箇所（累計）				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1箇所	0箇所	0箇所	2箇所	—
事業内容・成果	施設内の老朽化による修繕や備品等の購入は行ったが、大規模改修は行わなかった。			評価	C
課題・方向性	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画に基づき大規模改修について検討する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	学校給食・食育の充実				
施策の方向性	学校給食施設の適正化				
成果指標	学校給食共同調理場の適正化				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	未策定	策定済	策定済	計画策定	—
事業内容・成果	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画に基づき、財源については、防衛交付金を活用し、防火機能を有した「防災食育センター」として整備することとして、九州防衛局と協議を行った。			評価	A
課題・方向性	引き続き、市長部局と連携して事業を実施していく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	教職員の資質の向上				
主要事業	教職員研修の充実				
施策の方向性	定期研修会の充実				
成果指標	定期研修会での充実度割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	90%	—
事業内容・成果	各省令主任の研修会において、学力向上に係る授業実践について考えたり、各校の取組についての情報交換をしたりすることで、担当する校務分掌や学校の活性化につなげることができた。			評価	A
課題・方向性	各省令主任、養護教諭、栄養教諭及び特別支援コーディネーター等を対象とした定期研修会の内容を、教育課題や学校の実態に応じて更に充実させていく。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	教職員研修の充実					
施策の方向性	選択制研修会の充実					
成果指標	選択制研修会の実施回数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	4回	5回	4回	5回	—	
事業内容・成果	夏季休業中に、教職員の指導力や資質の向上を目的として、選択研修では「特別支援教育」「保健指導」「不登校等対応」の3つの研修会を実施した。全体研修では新型コロナウイルス感染症対策として、「学びの土台づくり」の講演会のDVDを各学校で視聴した。				評価	A
課題・方向性	本市の教育課題に対応する研修会を実施する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	校内研修の充実					
成果指標	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	52回	75回	60回	50回	—	
事業内容・成果	各学校の研究内容に応じて指導主事を36回派遣し、指導助言を行った。また、学校訪問において、指導主事及び教科等指導員による指導助言を延べ24回実施した。				評価	A
課題・方向性	指導主事や教科等指導員を派遣し、校内研修や学校訪問等で指導助言を行い、教職員の指導力向上を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	研究指定校の支援					
成果指標	研究指定校数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	5校	6校	6校	6校	650	
事業内容・成果	研究指定校を6校指定し、各校における研究を深めた。また、研究の成果・課題を市全体で共有できるように、3校において研究発表会を開催した。				評価	A
課題・方向性	教育課題に対応した研究を行う研究指定校に対する支援を充実し、研究を深めるとともに、その成果・課題を市全体で共有し、各学校の教育力を高める。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進					
施策の方向性	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進					
成果指標	幼・保・小の教職員間の連携の実施割合					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	100%	100%	100%	—	
事業内容・成果	※法改正に伴い「認定こども園」を事業内容等へ追加した。幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の教職員同士の情報交換や引継ぎ、行事での交流等を小学校単位で計画したが、コロナ禍のため実施できなかったものもある。しかし、引継ぎ等、職員同士の情報交換はできた。				評価	A
課題・方向性	幼稚園・保育所（園）・認定こども園・小学校の職員同士の情報交換や交流学习を推進し連携を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	幼児教育の推進				
主要事業	幼・保・認こ・小連携の推進				
施策の方向性	幼・保・認こ・小の教職員の合同研修の機会の充実				
成果指標	幼・保・認こ・小の教職員合同研修の実施回数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1回	1回	1回	継続	—
事業内容・成果	※法改正に伴い「認定こども園」を事業内容等へ追加した。 令和2年度は、特別支援教育研修会を幼・保・認こ・小・中・高合同で開催し、異校種間での情報交換を充実させることができた。			評価	A
課題・方向性	幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員が参加できるような体制づくりや、共有すべき内容について研究し、実施に向けた準備を今後も継続する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	幼児教育の推進				
主要事業	幼児教育への支援				
施策の方向性	教職員の資質向上に向けた研修体制確立				
成果指標	研修会の年間実施回数（回）				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0回	2回	2回	1回	—
事業内容・成果	幼稚園・保育所（園）・認定こども園の教職員の資質向上研修について、西九州させば広域都市圏事業「幼児教育センターのサービス提供」を受け、市の担当や幼稚園教職員が年に2回の研修に参加した。			評価	A
課題・方向性	西九州させば広域都市圏事業への参加が教職員の資質向上につながる研修となることを幼稚園・保育所（園）・認定こども園に周知するとともに、参加への支援を行う。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	学びを支援する体制の充実					
成果指標	社会教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	15講座	24講座	19講座	継続	1,100	
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染症対策により、実施を断念した講座もあったが、各世代のライフステージや現代的課題に対応した学習機会の充実を図るために、各地区に社会教育指導員を配置し、地域に根ざした社会教育講座を19講座計252回実施した。				評価	A
課題・方向性	受講者及び講座の固定化が見られるため、若年層を含む幅広い世代の市民が魅力を感じ受講しやすい学習講座や地域のニーズに応じた学習内容の一層の充実を図ることが必要である。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用					
成果指標	既存社会教育施設整備事業の進捗率					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	年間1施設	年間1施設	年間2施設	51,909	
事業内容・成果	西彼教育文化センターについて、経年劣化箇所（受変電設備、空調設備）の改修及びトイレの洋式化を実施し、施設の長寿命化とあわせ、利便性に配慮した施設の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	社会教育施設（公民館及び図書館等）については、経年劣化が著しいため、長寿命化計画及び施設整備計画に基づき、効率的かつ適正な施設の維持管理に努めていく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書館ネットワークの整備					
施策の方向性	図書システム運用の充実					
成果指標	図書館システムの導入					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2館 3室	2館 3室	2館 3室	継続	3,325	
事業内容・成果	図書館システム導入により、市内全ての図書館蔵書を把握することができている。その結果、市内間における相互貸借数が可能となり市民サービスの向上が図れている。				評価	A
課題・方向性	図書システムを活用した図書館（室）利用について、様々な機会を通じて周知を図り、身近な施設として利用者にとって利便性のある運営を目指す。また、教育委員会内に設置している図書システムサーバーについては、作動状況点検等の適正管理を行っていく。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書館ネットワークの整備					
施策の方向性	クロスねっとを活用したサービスの充実					
成果指標	長崎図書クロスねっとへの検索サービス					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2館 3室	0館 0室	0館 0室	継続	—	
事業内容・成果	県立長崎図書館を中心としたクロスねっと（横断検索）が利用できなくなっているため、市民サービスの低下に繋がらないよう民間会社が運営する図書館の蔵書を横断的に検索できるカーリル（他サービス）を活用し相互貸借に努めた。				評価	B
課題・方向性	市内の図書館（室）に蔵書がなくても、従来のクロスねっとだけでなく、カーリルを活用して県内外の図書館との相互貸借サービスが受けられる旨の周知を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理					
成果指標	図書館利用者数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	32,879人	34,848人	25,652人	33,500人	—	
事業内容・成果	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、臨時休館等余儀なくされ、利用者の減少となった。感染症対策を十分に図り、利用者に親しまれる公立図書館（室）を目指し、館内における季節ごとのレイアウト変更及び周知広報等を含めた事業展開を行った。				評価	B
課題・方向性	利用者の多種多様なニーズに柔軟に対応できるよう、各図書館（室）職員の各種研修に努め、レファレンス機能の充実や周知広報等も含めた事業展開を図っていく。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理					
成果指標	貸出資料数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	117,254冊	121,422冊	109,285冊	119,000冊	—	
事業内容・成果	各図書館（室）での貸出に限らず、公立図書館（室）から「身近に本を届ける支援サービス」の一環として、学校や幼稚園、保育所等へ移動図書サービスや団体貸出、学級文庫への貸出を実施した。貸出冊数の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響によるものと思われる。				評価	B
課題・方向性	各図書館（室）の利用者ニーズに対応した選書、読書相談・レファレンス・読み語りを実施し、各館（室）とも地域に応じ幅広い蔵書の充実に努めながら読書環境の提供を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				
主要事業	図書サービスの向上				
施策の方向性	図書ボランティアの推進				
成果指標	図書ボランティア数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	5人	10人	10人	18人	—
事業内容・成果	地域に密着した読み語り等の促進に向け、おはなし会やおたのしみ会など図書館でのイベントの際に図書ボランティア活動の周知や募集告知を図るものであるが、年間を通しておはなし会等イベントを自粛したため人数の増加はなかった。			評価	B
課題・方向性	読書活動に精通した図書ボランティアを確保するため、継続的に養成講座を開設するとともに、実践活動における体制づくりを構築するための研究を行う必要がある。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	学習環境の充実				
主要事業	子どもの読書活動の充実				
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進				
成果指標	乳児健診時のブックスタート実施率				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	382
事業内容・成果	子ども読書活動推進計画に基づき、絵本を通じた親子のコミュニケーションの機会の提供や、文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせることにより、読書習慣の醸成を図った。			評価	A
課題・方向性	今後も、「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、子どもたちの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供を行う。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	図書館まつりの開催					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	0回	継続	-	
事業内容・成果	年に1度開催している『図書館まつり』において、人形劇や絵本の読み語り、紙芝居などを実施して本の世界に触れる機会や読書に親しむ機会を提供し、着実に参加者が増加していた。本年度については新型コロナウイルス感染症対策により中止とした。				評価	C
課題・方向性	「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、また、新しい生活様式を取り入れた形で読書の楽しさや本に親しむ機会の提供を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上					
施策の方向性	自治公民館への支援					
成果指標	自治公民館モデル事業実践館数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	5館	15館	6館	10館	771	
事業内容・成果	本事業により、モデルテーマに沿った自治公民館活動に対し、申請により補助金を交付している。市内自治公民館41館のうち12館が本事業を申請し、コロナ禍の中、6館事業実施ができた。本事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進できた。				評価	B
課題・方向性	本事業を活用した取組については、先進的な活動を促すとともに未活用の館にも情報提供することにより、本事業の更なる積極的な活用について周知のための広報を行っていく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館等における生涯学習活動の支援及び学習機会の充実					
成果指標	公民館利用者数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	69,416人	64,754人	39,675人	71,400人	—	
事業内容・成果	年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響もあったが、各地区に配置している社会教育指導員を中心に、ライフステージに応じた講座や地域の特色を生かした各種講座を企画実施した。				評価	B
課題・方向性	新しい生活様式を実践した上で、学習者ニーズや住民の要求課題、地域課題を把握しながら、魅力のある多様な学習講座の展開を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化					
成果指標	公民館職員等の年間研修機会回数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2回	2回	1回	継続	—	
事業内容・成果	県公民館大会が新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催となるなど、例年実施される公民館研修会等研鑽の場が失われた。しかしながら、社会教育に通じる諸研修の機会提供を行った。				評価	B
課題・方向性	今後も、自主的な公民館活動及び活性化を目指すための人材育成として、公民館役職員を対象にした研修機会や情報提供を行うとともに、オンライン研修の実施なども検討していく必要がある。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化					
成果指標	公民館連絡会議の開催					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	1回	継続	—	
事業内容・成果	公立公民館及び各地区公民館長・主事・書記等、公民館役員の連携強化を図るため、連絡会議を開催できるよう検討したが、本年度については書面開催とした。公立公民館活動も感染症対策のため満足な活動ができなかった。				評価	B
課題・方向性	今後は、新しい生活様式を踏まえ、市内各公民館における活性化策及び課題解消の参考となるよう、情報共有及び情報交換ができる場の提供を行う。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	社会における人権教育の推進					
施策の方向性	人権教育・啓発の推進					
成果指標	人権・同和教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	531人	396人	—	558人	223	
事業内容・成果	「西海市人権のつどい」を中止にしたことで、人権・同和問題に関する学習の機会が減少したが、「人権啓発作品コンクール」において1,220点の作品もの応募があり、人権啓発への意識醸成を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図る。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	学校教育課
主要施策	人権・同和教育の推進				
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進				
施策の方向性	人権・同和教育、平和教育の推進				
成果指標	人権集会、平和集会の実施校の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	—
事業内容・成果	全小・中学校で実施した。各学校で計画的に取り組んでおり、特に12月の人権週間には、人権集会を実施した。平和学習においては、原爆資料館や被爆遺構の見学、被爆者等の講演などを行った。			評価	A
課題・方向性	今後も取組を継続し、全小・中学校で確実に実施する。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	学校教育課
主要施策	人権・同和教育の推進				
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進				
施策の方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり				
成果指標	いじめ解決の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	継続	—
事業内容・成果	各校の教職員をはじめ、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、心の教室相談員と連携し、早期解決にむけて適切に対応した。また、定期的なアンケートの実施で児童生徒の実態把握を行った。			評価	A
課題・方向性	人権教育及び児童生徒理解に関する研修を推進し、いじめの早期発見・早期解決に向けた体制づくりを継続する。				

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	保護者への家庭教育の支援					
成果指標	家庭教育学級の開催数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	13学級	15学級	11学級	20学級	83	
事業内容・成果	各PTA及び保護者会が主催する『家庭教育講座』に対し、講師謝金等の助成や講師選定の助言等を行い、家庭教育のあり方について、「親学び」の機会を提供した。 内訳（幼稚園・保育園2件、小学校7件、中学校2件）				評価	B
課題・方向性	今後も、PTA及び保護者会と連携を図りながら、家庭教育のあり方について学ぶ機会（講座・学級）を提供する。また、本事業の活用推進を図るため、市内各小中学校PTA、幼稚園及び保育所（園）保護者会に対し周知を行う。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	家庭教育講座開設					
成果指標	公民館における家庭教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	—	3講座	0講座	3講座	—	
事業内容・成果	コロナ対策により本年度は中止としたが、地区社会教育講座において、料理教室やガーデニング教室など親子で参加できる講座を企画した。				評価	C
課題・方向性	地域ニーズや社会情勢の把握や各地区における社会教育講座との連携を視野に入れながら、公民館における家庭教育講座の開設について検討を行う必要がある。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	P T A活動の活性化					
施策の方向性	P T A活動の支援					
成果指標	P T A研究大会及び研修会等の開催					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	3回	4回	3回	継続	1,693	
事業内容・成果	西海市P T A連合会の主催による、会員間の連携・融和や資質向上と学校教育の充実・促進を図ることを目的とした会員研修会や各専門部主催の研修が開催され、会員相互の情報共有が図られた。				評価	B
課題・方向性	今後も、西海市P T A連合会が開催する研修会等への参加をはじめ、P T Aの組織運営がスムーズに進むよう支援を行う。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年関係団体の活性化					
施策の方向性	青少年健全育成活動の支援					
成果指標	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	3回	7回	0回	継続	1,063	
事業内容・成果	コロナウイルス感染防止対策のため、イベントでの啓発活動が実施できなかったことから、社会教育委員やココロねっこ指導員を中心に「は・あ・と・ふ・る運動」や「ココロねっこ運動」ののぼり旗の設置運動を強化した。また、「は・あ・と・ふ・る運動」に特化して、ランドセルカバーやバッジを製作し配布した。さらに、西海小学校を「は・あ・と・ふ・る運動」の活動推進指定校に指定し、積極的に啓発活動を行った。				評価	B
課題・方向性	支部活動の活性化を図りつつ、今後も青少年健全育成を推進するため、関係団体と連携・情報共有を図りながら事業を展開する。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成				
主要事業	青少年関係団体の活性化				
施策の方向性	指導者育成の支援				
成果指標	指導者研修会の開催				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	2回	0回	0回	継続	—
事業内容・成果	対外的な研修会が中止になったことに伴い、支援活動は困難であった。また市内で指導者研修会は実施していないが、長崎県ココロねっこ指導者研修会には市内から5名参加した。			評価	C
課題・方向性	これまでは単なる情報提供に留まっていたが、今後は、提供範囲の拡大を含め、対象者の積極的かつ自発的な参加を促すような取組が必要である。				

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成				
主要事業	青少年の交流活動の推進				
施策の方向性	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）				
成果指標	子ども体験活動事業申請対象件数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	21件	22件	8件	26件	1,494
事業内容・成果	感染症の影響もあり、実施団体は大幅な減少となったが、市民団体等が次代を担う子どもの健やかな成長を育むことを目的として行う事業（自然体験・科学体験・文化活動等）に対し、8件の助成を行った。			評価	B
課題・方向性	今後も自然体験や文化活動等を通して、本市の次代を担う子ども達の健やかな成長を育むため、本事業の積極的な活用について、幅広い周知活動を展開する。				

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の交流活動の推進					
施策の方向性	交流及び体験活動の機会の提供					
成果指標	青少年を対象にした体験・交流事業					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1回	2回	0回	2回	—	
事業内容・成果	西彼青年の家主催事業である「子ども遊楽塾」も開催の検討を行ったが、感染症対策により、本年度は実施を断念した。				評価	C
課題・方向性	今後も関係団体と連携・協力を図りながら、青少年の交流活動の更なる推進及び支援体制づくりに努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	有害情報対策の推進					
成果指標	有害図書類販売店舗等への立入調査への協力者数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	27人	26人	39人	継続	86	
事業内容・成果	「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」にあわせ、関係団体（機関）の協力を得ながら、有害図書類等販売店舗（コンビニ・書店・携帯電話販売店等）への立入調査を実施した。				評価	A
課題・方向性	今後も、有害図書類等販売店舗への立入調査と白ポストによる有害図書類等の回収事業を継続し、青少年の健全育成のために有害環境の浄化に努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課
主要施策	青少年の健全育成				
主要事業	青少年を有害環境から守る取組				
施策の方向性	メディア安全指導員の養成と利用促進				
成果指標	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1人	4人	5人	5人	—
事業内容・成果	市内各学校から講演依頼があった際、メディア安全指導員を派遣し、情報メディアの適切な利用について講話を行っている。令和2年度は市内小中高校や団体等へ5回派遣を行った。			評価	A
課題・方向性	市内の資格取得者は5人であり、県内他市町と比較すると割合は低い状況にあるため、メディア安全教育の更なる普及を推進するため、資格取得支援を継続する必要がある。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	学校教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	安全確保を図る地域ボランティアの育成				
施策の方向性	地域ぐるみの安全確保対策				
成果指標	関係機関やP T A等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	100%	100%	100%	継続	—
事業内容・成果	学校及び保護者、地域ボランティアとの連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制の充実を図った。			評価	A
課題・方向性	子供が安心して学校や地域での生活が送れるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	学校の適正配置の促進				
施策の方向性	学校の適正配置の推進・統合に伴う環境整備の推進				
成果指標	小学校数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	14校	13校	13校	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	1,732
事業内容・成果	大崎地区（大島西小・大島東小・崎戸小）については、大崎地区小学校適正配置（学校統合）実施計画に基づき、新設校1校を令和4年4月に開校することとし、名称を「大崎小学校」、学校の位置を「現大島東小学校所在地」として条例改正を行った。			評価	B
課題・方向性	大崎地区においては、審議会に分科会を設置し、調査・研究を実施しており、令和4年4月大崎小学校開校に向けた準備を進めていく。大瀬戸地区においては、地域及び保護者の理解が得られていないことから、子どもたち並びに地域にとって望ましい学校のあり方について引き続き検討する。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	社会教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	放課後の子どもたちの居場所づくり				
施策の方向性	放課後子ども教室の開催、土曜学習の開催				
成果指標	人材バンク登録者数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	30人	42人	42人	継続	3
事業内容・成果	放課後及び土曜日等に子どもたちが安全で健やかに過ごせるよう学校の余裕教室等を活用して居場所を確保し、人材バンク登録者をはじめとする地域住民等の参画を得て、放課後子ども教室及び土曜学習の充実に努めた。 学校の余裕教室を活用した『放課後子ども教室』は、対象児童を限定したが延べ1,449人の児童が参加した。(内訳：西海東小学校701名、大島東小学校748名) また、市内各施設を活用した『土曜学習』は、感染症対策のため従来2コースをふるさと体験発見コースのみで実施し、延べ43名の児童が参加した。			評価	A
課題・方向性	放課後子ども教室は小学校及び図書館の余裕教室を活用した事業を行っているが、実施場所が手狭で子どもたちの受入人数に限界があるため、近隣の公共施設等の活用や対象人数を検討し、事業の継続に努める。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	奨学資金制度の拡充				
施策の方向性	奨学資金制度の充実				
成果指標	西海市奨学生の新規認定者数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1人	16人	15人	10人	—
事業内容・成果	令和2年度新規奨学生として15名を決定し9,080千円の貸付を行った。併せて、昨年度からの継続者26名に対し8,140千円の貸付を行った。 また、償還対象者のうち16名から1,199千円の返還があった。			評価	A
課題・方向性	貸付対象者が増加してきていることから、適正な基金の運用や債権管理に努めていく必要がある。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造					
成果指標	学校校舎の大規模改造					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	19校/43校	26校/43校	29校/43校	31校/43校	240,231	
事業内容・成果	西海東小学校大規模改修工事として、外部建具、機械設備等の老朽化が著しい箇所の第Ⅱ期改修工事を行った。 また、西海北小学校においては屋上防水、トイレ等の改修工事を行った。				評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい学校校舎の内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁並びに屋上防水改修に向け予算確保に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	屋外運動場の改修					
成果指標	屋外運動場の改修					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	3校/9校	3校/9校	3校/9校	6校/9校	—	
事業内容・成果	子どもたちが等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。				評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋外運動場の改修に向け予算確保に努める。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	学校施設の改修				
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造				
成果指標	屋内運動場の大規模改造				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	6校/26校	8校/26校	8校/26校	16校/26校	—
事業内容・成果	老朽化が著しい屋内運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。			評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋内運動場の内部の改修、外壁及び屋上防水の改修、並びにトイレの洋式化等への改修に向け予算確保に努める。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	学校施設の改修				
施策の方向性	学校の温暖化対策				
成果指標	学校の温暖化対策				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0校/12校	3校/12校 (17校/17校)	3校/12校 (17校/17校)	6校/12校 (17校/17校)	19,470
事業内容・成果	学校の温暖化対策として、新たに音楽室や多目的教室に空調設備及び換気設備を整備する準備を整えた。			評価	A
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続きから市内の小中学校の特別教室等で空調設備が使用できるよう令和3年度内の工事完成を目指す。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	学校情報通信技術の整備						
施策の方向性	教育ネットワークの構築						
成果指標	教育ネットワークの構築						
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	0%	0%	50%	100%	93,299		
事業内容・成果	「西海市光のみち構想（全市内光ファイバー化事業）」と並行し、国が提唱するG I G Aスクール構想を推進するため、各学校の超高速インターネットが利用できる環境（LAN）を整備することができた。					評価	A
課題・方向性	教育委員会と各学校間のネットワークの整備や校務支援システム、グループウェアの導入、学校における情報セキュリティの強化に向け予算確保に努める。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築				所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備						
主要事業	教職員住宅の整備						
施策の方向性	教職員住宅の整備						
成果指標	教職員住宅の整備						
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)		
	90戸	95戸	93戸	102戸	12,575		
事業内容・成果	随時、修繕を行い、教職員住宅の適正な管理が図られ、環境の維持、安全確保ができた。 また、教職員住宅シャワートイレ整備を計画的に実施した。					評価	B
課題・方向性	教職員のニーズを把握し、教職員住宅が不足している地域に新たに住宅を整備するとともに、老朽化が著しい住宅を改築、改修するなど、引き続き住宅の整備に向けた予算確保に努める。 また、全ての教職員住宅においてシャワートイレ化を図るため、年次計画をたて、整備を図る。						

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	教職員住宅の整備				
施策の方向性	教職員住宅の水洗化				
成果指標	教職員住宅水洗化率				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	68.90%	83.02%	83.02%	85%	決算額については、教職員住宅の整備へ計上
事業内容・成果	教職員住宅の水洗化を計画的に実施するため、未実施住宅の状況把握に努めた。			評価	B
課題・方向性	水洗化が進んでいない教職員住宅について、新築、改修の機会を捉え、水洗化の推進に向けた予算確保に努める。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出					
施策の方向性	芸術と触れ合う機会の創出、文化施設の整備・活用					
成果指標	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0回	1回	2回	1回	—	
事業内容・成果	西彼杵高等学校と共催で開催している「西彼杵高校文化部発表会 ～地域と共に歩む～」は新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となったが、崎戸小学校及び大瀬戸小学校で文化庁事業による舞台芸術の鑑賞機会を提供した。				評価	A
課題・方向性	今後も文化協会など関係団体と連携して、優れた文化・芸術に関するイベントを開催し、文化の振興に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の支援					
成果指標	全市的な文化祭等の開催回数及び入場者数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	3回 2,154人	5回 1,715人	4回 2,530人	3回 2,370人	—	
事業内容・成果	西海市文化協会主催による主要事業として、夏休み子ども芸術体験講座（8月）、第3回さいかいミュージックフェス（9月）、岡本泰彰展（10月）、第10回西海市文化祭（展示・12月）の開催を支援した。				評価	A
課題・方向性	文化協会が主催する事業を支援し、市民の文化活動の活性化を推進する。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の支援					
成果指標	西海市文化協会への加入促進					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	560人	509人	493人	600人	6,224	
事業内容・成果	コロナ禍のなかで、感染拡大防止を図りながら文化活動を推進するための支援を行った。子ども対象の「夏休み子供芸術体験講座」、広報紙・機関誌発行、新たな取り組みとして西海市出身の芸術家岡本泰彰氏の展覧会などの取組を支援し、協会の魅力向上に努めた。				評価	B
課題・方向性	会員増加と文化協会の活性化のため、今後も若者の文化活動を支援していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	歴史・文化の拠点づくり					
成果指標	(仮称) さいかい市民ミュージアム(博物館)の創設					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	検討委員会からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	ミュージアム 準備室(仮) の設置 50%	6,578	
事業内容・成果	新たに教育委員会と大瀬戸歴史民俗資料館に専門職員である学芸員を各1名配置した。本市の歴史等の調査・研究を進め、ペンギンモドキ化石や西海橋の重要文化財指定について市民に発信した。				評価	B
課題・方向性	歴史・文化の拠点となる施設を設置するためには、これまでの調査・研究の成果を含め、学芸員による市民への啓発的な活動が今後も必要である。また、本市の魅力を市ウェブサイトや市内3箇所の歴史民俗資料館を中心に市内外に広く発信していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用				
主要事業	文化財の保存・活用				
施策の方向性	市民への啓発				
成果指標	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	1,000冊 作成	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	—
事業内容・成果	新たに国の重要文化財に指定された「西海橋」を西海市の広報誌で紹介し、『西海市の文化財』の改定版を発行するため、情報収集を継続した。また、「さいかいふるさと発見講座」は全2回計画したが、コロナ禍において中止した。			評価	B
課題・方向性	『西海市の文化財』を発行後、新たに指定された文化財があるため、改訂版を発行するための情報収集を継続する。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用				
主要事業	文化財の保存・活用				
施策の方向性	保護・活用方法の検討				
成果指標	文化財の調査・研究着手件数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	2件	2件	4件	3件	4,336
事業内容・成果	農地基盤整備事業に伴う範囲確認調査を実施した。調査の結果、多くの旧石器時代の石器が出土した。また、ペンギンモドキ化石の情報発信、西海橋の重要文化財指定、崎戸炭鉱遺構の保存に取り組んだ。			評価	A
課題・方向性	現在取組んでいる調査・研究について、市民の認識向上のために継続して情報を発信していく。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	伝統文化等の記録・保存件数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	13件	13件	14件	15件	1,302	
事業内容・成果	コロナ禍で記録を計画していた西海市指定無形民俗文化財「上岳八朔祭」が中止となった。そのため、大瀬戸町の郷土芸能ビデオのDVDへの複製を行った。また、国重要文化財に指定された西海橋の開通式の映像を含む紹介DVDを制作し、郷土芸能を支援する制度創設の検討を行った。				評価	B
課題・方向性	少子・高齢化等の影響で伝統芸能の継承が困難となりつつある地域がある。伝統芸能については、映像記録の制作や必要な道具の購入など保持団体の状況に応じた支援に努めるとともに、郷土芸能等の映像記録を活用して、西海市民への周知に努める。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	地域伝統文化の継承					
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上					
成果指標	認定文化財の登録件数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0件	1件	0件	2件	—	
事業内容・成果	文化財として未指定の各地区にある文化遺産を継承すべく、保存要望をいただいた西海市地域遺産に成り得る遺産等を現地調査し、西海市文化財保護審議会において協議した。				評価	B
課題・方向性	西海市地域遺産に対する市民の認知度が低いため、制度の周知及び地域遺産保存のための補助金制度を創設する必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり					
成果指標	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	13回	35回	10回	20回	31	
事業内容・成果	大瀬戸プールにおいて小学生を対象とした水泳教室、幼児を対象とした体操教室を企画したが、コロナ禍において瓊浦高校水泳部指導による水泳教室は中止、体操教室も減となった。地域の要請に応じてスポーツ推進委員と合同で出前講座を行った。				評価	B
課題・方向性	出前講座等イベントの参加者に競技者となってもらうことが課題である。スポーツ推進委員、体育協会と教育委員会が連携し、生涯スポーツとしての競技者を増やしていく必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	総合型地域スポーツクラブの設置と運営支援					
成果指標	総合型地域スポーツクラブ設立団体数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	1団体 (累計)	1団体 (累計)	1団体 (累計)	2団体 (累計)	—	
事業内容・成果	現在大瀬戸地区に1団体設置し、陸上競技を中心に活動を行っている。西海市体育協会協力のもと、春季・冬季計2回のクロスカントリー大会を計画したが、コロナ禍により1回のみ開催となった。活動種目の増加についても検討を行ったが至らなかった。				評価	C
課題・方向性	総合型クラブについては、体育協会の単協組織やスポーツ少年団などの組織が存在し、総合型クラブを推進していくメリットがあまり感じられないなどの意見がある。体育協会やスポーツ推進委員と連携して新たな総合型クラブの設置を検討していく必要もある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり					
成果指標	アシスタントマネージャーの育成数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	2人	2人	2人	3人	—	
事業内容・成果	コロナ禍の移動自粛もありアシスタントマネージャー養成講習会の受講者はいなかった。また、上級資格のクラブマネージャー養成講習会についても講習会場が東京などの都市圏のみでの開催となっているため参加者がいなかった。				評価	C
課題・方向性	総合型クラブの設置支援と併せて育成支援を検討する必要がある。アシスタントマネージャー養成講習会は、各県独自の開催が可能であり、有資格者の増加を目指す必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ指導者講習会					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0回	2回	1回	2回	—	
事業内容・成果	スポーツ推進委員の資質向上のため、県実技講習会、県女性委員会主管研修会への派遣を計画したが、コロナ禍において県実技講習会は中止され、女性委員会研修会は地区開催として西海市単独で実施した。				評価	B
課題・方向性	生涯スポーツの推進の観点から全世代が行える競技を推進していく必要がある。スポーツ推進員を中心とした軽スポーツの普及に力を入れていく。					

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ指導者講習会への派遣回数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0回	2回	0回	2回	—	
事業内容・成果	委員の資質向上を目的にスポーツ推進委員協議会主催の県、九州地区の研究大会へ委員の派遣を計画したが、コロナ禍において中止となった。				評価	B
課題・方向性	西海市スポーツ推進委員会と西海市体育協会との連携を密にし、連携した事業を行う必要がある。様々な年齢層、競技層を活性化できる高いレベルの指導者の育成が必要といえる。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	「スポーツリーダーバンク制度」の確立					
成果指標	西海市スポーツリーダーバンク登録者数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	0人	10人	10人	15人	—	
事業内容・成果	市民の体育・スポーツ活動の普及振興を図るため、スポーツリーダーバンク制度を導入するために必要なスポーツリーダーバンク設置要綱を制定した。また、スポーツリーダーの募集及び登録について、スポーツ推進委員会で周知を行なった。				評価	B
課題・方向性	スポーツリーダーバンク制度を活用する団体がいるのかを把握する必要がある。スポーツリーダーの存在を周知し、スポーツリーダーの募集とともに活用を行う依頼者を増やしていく必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	競技力向上を目指した各種講習会等の開催					
成果指標	西海市体育協会加盟団体数					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	18団体	21団体	21団体	継続	—	
事業内容・成果	構成団体21団体、会員数1,751人である。スポーツ普及振興事業、指導者育成事業として講習会等を計画したが、コロナ禍により中止した。競技団体主催の大会が開催されなかったことからソフトボール、バレーボールの会員数が減員となるも団体数は維持し活動は継続している。				評価	B
課題・方向性	西海市の人口が減少する中で、未加入の競技団体への加入を促進し、競技人口をいかにして持続していくかが課題である。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	上位大会出場者への支援					
成果指標	県民体育大会参加者数（年間）					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	240人	256人	87人	300人	—	
事業内容・成果	県民体育大会に、西海市体育協会を通じて87名の選手を派遣した。				評価	B
課題・方向性	人口減少とともに競技人口が減少している状況にある。西海市体育協会と連携し、競技人口の拡充を図り、競技力の向上を図る。					

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実					
主要事業	スポーツ施設の整備充実					
施策の方向性	スポーツ施設の整備					
成果指標	体育施設整備進捗率					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	22%	40%	45%	50%	93,833	
事業内容・成果	整備計画に基づき老朽化した大島中央運動公園体育館の解体、西海スポーツガーデン多目的運動場の設備改修、大島若人の森総合運動公園の改修を行い、利用者の利便性を向上させた。				評価	A
課題・方向性	施設の老朽化が激しく大規模改修を伴う修繕が必要となってきた。廃止も含めて体育施設整備計画を見直し、年次計画で整備充実を図る。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実					
主要事業	スポーツの推進体制づくり					
施策の方向性	情報提供の充実					
成果指標	スポーツ情報の提供（年間）					
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)	
	12回	21回	29回	継続	—	
事業内容・成果	市広報に29回、西海市ウェブサイトにて5回掲載を行った。七釜鍾乳洞ロードレース大会はコロナ禍において中止したが周知については、レース計測委託業者を通じて専用HPの開設やスポーツ情報サイトにて周知を行った。				評価	A
課題・方向性	広報のみでの周知となると、イベント情報や大会結果の掲載に遅れが生じてしまい旬な情報の周知が難しいため、西海市ウェブサイト上のSaikaiブログ等を使い早めの情報周知に努めていきたい。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	スポーツ環境の充実				
主要事業	スポーツの推進体制づくり				
施策の方向性	関係機関との連携強化				
成果指標	スポーツ関係情報交換会開催回数				
	現況値 (H27年度)	R元年度	R2年度	中間目標値 (R3年度)	決算額 (千円)
	0回/年	1回/年	0回/年	1回/年	—
事業内容・成果	西海市のスポーツ関係者（指導者、競技者、保護者）とのスポーツの現状について意見交換を行う場を設定したが、コロナ禍により中止した。			評価	B
課題・方向性	小・中学生のスポーツ活動についての問題が多く提起されている。本市だけで解決できない学校教育上での課題が多くあることから、学校とも協調しながらスポーツ振興が図られるような取組みが必要である。				